



計測と科学

毎週日曜発行

日本計量新報社

東京都江東区亀戸7丁目62-16

〒136-0071 TEL 03-5628-7070

FAX 03-5628-7071

https://www.keinyou-keisoku.co.jp/

振替口座 00140-5-12935

購読料年間 27,500円(消費税込み)

定量子量専用機

Pack

NAVI

速くハカル、

楽にツメル

Yamato

大和製衡株式会社 tel:078-918-6577

http://www.yamato-scale.co.jp/

3378・3379号

を合併号とし、4月24日

付で発行します。

5月8日付は休刊しま

す。

【○】について記号は「小文

字表記」(quecto = q

ronno = r) に付す。

その結果、10の30乗は

「quetta (クエタ)」

(Q)、10の27乗は「ro

na (ロナ)」(R)、10の

マイナス27乗は「ronno

(ロント)」(r)、10の

マイナス30乗は「quecto

(クエクト)」(q) が提

案されることになった。

■倍数と約数はセットに

②指数の「絶対値が等

しい」接頭語は、倍数と

約数をセットにして、「同

じアルファベット」でわ

かりやすく示す。

今回の4つの接頭語

も、「クエタ (quetta)」

(Q) と「クエクト (qu

ecto)」(q)、「ロナ (r

onna)」(R) と「ロン

no (ronno)」(r) がセッ

トになっている。

当初、10の30乗は que

cta (クエカ) が候補だっ

たが、ある言語で似た言

葉があるという指摘をう

け、quetta (クエタ)

(Q) の接頭語は「末尾を

に修正された。

少しわかりにくいのが、要

は、①倍数(大きい数)の

接頭語は「末尾」を「a

」にして記号は「大文字表

記」(Q) (quetta = Q

ronna = R)、約数(小さ

い数)の接頭語は「末尾を

に修正された。

計量機関・団体人事異動(2)

特定計量器検査規則改正ほか(2)

特集・とうきょうの計量No.284

政府関係の人事異動

寄稿：佐藤克哉、江尻義博

「一般計量教育」を募集、社説「電動アシスト

自転車の普及と技術革新」

第30回品質工学研究発表大会、島津・新たな

CO₂排出削減目標設定、表「SI接頭語の

名称と記号」

⑫面

SI接頭語の範囲拡張へ

国際度量衡総会で承認されれば

1991年以来

情報量が急増した科学技術の発展への対応

2022年11月に開催予定の第27回国際度量衡総会で、「大きな数」と「小さな数」を表す言葉(SI接頭語)がそれぞれ2つずつの計4つ、10の30乗、10の27乗、10のマイナス27乗、10のマイナス30乗の「SI接頭語」の名称と記号が新たに提案される予定だ。10の30乗は「quetta (クエタ)」(Q)、10の27乗は「ronna (ロナ)」(R)、10のマイナス27乗は「ronno (ロント)」(r)、10のマイナス30乗は「quecto (クエクト)」(q)が提案される。(見やすい一覧表は⑫面に掲載)

31年ぶりの範囲拡張の、31年ぶりのSI接頭語の範囲拡張となる。語の範囲拡張となる。大きな数あるいは小さな量を端的に記述するため、SI接頭語の範囲拡張が、科学技術の発展に伴い、報量の急激な増加など、SI接頭語の範囲拡張が、



見やすいバックライト付大型表示 ¥33,000(税抜)

に、10のべき乗を表し、SI単位と共に用いられるものをSI接頭語という。これまでは、10の24乗から10のマイナス24乗の範囲のものが認められていた。近年のデジタル情報量の急激な増加など、科学技術の発展に伴い、SI接頭語の範囲拡張が、

候補の決定に際しては、慣例や利便性が考慮されている。記号に用いるアルファベットは、「p」「n」「r」「s」に既に他のSI接頭語、SI単位、その他の単位などで記号として使用されている文字は、混乱を避けるために使用しない。そこで、記号に用いるアルファベットは、大文字・小文字ともに使える、「a」と「r」の2つに限定された。

そのうえで、最近の慣例に従いラテン語やギリシャ語の単語を参考にして名称の候補が決められた。

接頭語名称の末尾と記号の規則

1975年以降に追加された接頭語と同様に、正の指数(10ⁿ)、負の指数(10⁻ⁿ)を持つ接頭語名称は「a

で終わり、負の指数(10⁻ⁿ)を持つ接頭語名称は「o」で終わること、指数の絶対値が等しい接頭語の記号は同じアルファベットを用い、

「○」について記号は「小文字表記」(quecto = q, ronno = r) に付す。その結果、10の30乗は「quetta (クエタ)」(Q)、10の27乗は「ronna (ロナ)」(R)、10のマイナス27乗は「ronno (ロント)」(r)、10のマイナス30乗は「quecto (クエクト)」(q) が提案されることになった。

倍数と約数はセットに

指数の「絶対値が等しい」接頭語は、倍数と約数をセットにして、「同じアルファベット」でわかりやすく示す。

今回の4つの接頭語も、「クエタ (quetta)」(Q) と「クエクト (quecto)」(q)、「ロナ (ronna)」(R) と「ロント (ronno)」(r) がセットになっている。

当初、10の30乗は quetta (クエカ) が候補だったが、ある言語で似た言葉があるという指摘をうけ、quetta (クエタ) (Q) の接頭語は「末尾をに修正された。

世界を拓くヤマヨの巻尺

ヤマヨ測定機株式会社

- 今週の主な記事
- ① SI接頭語の範囲拡張へ
 - ② 計量機関・団体人事異動(2)
 - ③ 特定計量器検査規則改正ほか(2)
 - ④ 特集・とうきょうの計量No.284
 - ⑤ 政府関係の人事異動
 - ⑥ 寄稿：佐藤克哉、江尻義博
 - ⑦ 「一般計量教育」を募集、社説「電動アシスト自転車の普及と技術革新」
 - ⑧ 第30回品質工学研究発表大会、島津・新たなCO₂排出削減目標設定、表「SI接頭語の名称と記号」
 - ⑨ ⑩ ⑪ ⑫



分析天びん

Advanced Performance UniBloc Balances

AP W-AD Series

NEW

高速応答、高安定性を実現

身近になったオートドアでより快適なひょう量作業が可能に!

01 イオナイザ、可動式風防内部プレート*1による静電気・対流の影響を低減し、安定した信頼性の高い計量
*1 W-ADシリーズ(セミマイクロ機種のみ)

02 タッチレスセンサとスマートオートドアによるコロナ感染リスク・コンタミリスク低減に優れた作業環境を提供

03 LabSolutions Balanceで計量データのデータインテグリティ対応



※この写真はAP225W-ADです。

株式会社 島津製作所 分析計測事業部

AP W-ADシリーズの特徴を、わかりやすくムービーで解説
https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01/ap_d.htm

